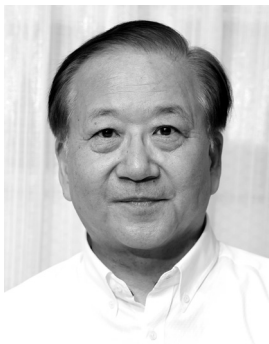


# 南海トラフ巨大地震と富士山噴火

東海大学海洋研究所客員教授 長尾年恭

- \*地震と雷にある強い関係
- \*キルギスで行われている地震制御の研究
- \*災害リスク指数が世界一の東京・横浜
- \*富士山は近い将来100%噴火する
- \*地震観測計器の飛躍的な拡大
- \*南海トラフ地震の前兆は何か
- \*東日本大震災の次は千島列島沖の可能性
- \*東海大学が開発した地下天気図について
- \*今、危惧される地域はどこか
- \*重要な避難所やブラックアウトの対策



**柴生田** それでは開会いたします。

本日は東海大学の長尾年恭先生においでいただきました。今回でたしか4回目でございますので、改めてご紹介の必要はないかもしれませんが、先生は1955年のお生まれで、東京大学大学院を修了後、途中で南極の越冬隊の経験をされ、研究生活に入られた後もアテネ大学で地殻変動等の研究もされてこられました。金沢大学を経て東海大学に移られ地震予知研究センターで研究され、現在は東海大学海洋研究所の客員教授でございます。

皆さんご興味の地震ですが、一般的には地震は予知できないという話が流布されているわけですが、様々なデータを基にある程度の予知ができるというお話をこれまでもされてこ

られました。南海トラフ地震についてはコロナの中でメディアから情報があまり出にくい昨今でございますが、状況としては依然としてリスクは高まっているわけで、今日は地震のお話、それから併せて富士山噴火も含めてお話をいただきたいと思っております。

それでは長尾先生よろしくお願いたします。

## 地震と雷にある強い関係

**長尾** ただいまご紹介にあずかりました東海大学の長尾と申します。

この3月でフルプロフェッサーという形では無事定年退官をしまして、現在は客員教授という形で研究を続けております。客員教授になっていけばん幸せなのが、会議が劇的に減ったこ